

34. 生野踊り いくのおどり

■ 指定日

昭和61年4月10日

■ 種別

無形民俗文化財

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市生野町口銀谷、新町、奥銀谷、小野、北真弓

■ 保存団体

生野踊り保存会



■ 内容

江戸時代に、山師が盆の休日における鉦夫の慰安や、鉦山で死んだ人の供養のために、京都から踊りの師匠を招き、振り付けをしたものと伝えられている。

代官・役人の妻女は、年1回の8月14日から3日間の盆踊りには、顔を深々と編笠で隠し、その時ばかりは庶民の中に混じって踊ることができたとされる。

一列になって三味線、太鼓、尺八、鉦に合わせて口説きながら踊る優雅な盆踊りである。